



学校教育目標 「ふるさとに誇りを持ち、知性と社会性を身につけた子どもの育成」
令和6年度重点目標 「聴き合い紡ぎ合い高め合う生徒の育成」



～“Try & Error”のある学びの中で～

子どもたち、がんばっています

その2

全力でたたかいました。中体連八女地区大会^他

勝敗はつきましたが、どの部も精一杯たたかいました。

私は役員として、本校で開催されたバレーボール大会会場にいましたが、全力で試合に臨む生徒の姿に心をうたれました。仲間につなぐために必死にボールを拾う姿、失敗したチームメイトに声をかけ励ます姿、周りの動きを見ながら、自分がどう動くべきか瞬時に判断して動く姿、とても素晴らしかったです。そして、それは全部、今の学校生活、学級での生活、社会に出て仕事をできるようになってから、絶対に生きる力になると思いました。私自身が、中学・高校時代も含め、ほとんど運動部やチーム競技に関わったことがないので、うらやましい姿でもありました。もしも中学時代、私がバレーボール部だったら、今の自分はどんな自分になってただろう・・・とぼんやり考えたりしていました。(注:決して今の自分を否定たり後悔しているわけではありません)

さて、筑後地区大会・県大会に進出する生徒には、残り少ない時間をしっかりと練習に取り組み、悔いの残らない試合にしてほしいです。健闘を祈ります！

★八女地区4位以内 筑後地区出場

- 卓球男子 団体準優勝
- 個人9位 ○○○○
- 個人10位 ○○○○
- 卓球女子 個人準優勝 ○○○○
- 個人5位 ○○○○
- 女子バレーボール 3位
- ソフトボール 準優勝



★県通信陸上大会

- 200m ○○○○ (参加標準記録を突破し全国大会へ)
- 400mR 6位 (○○○○、○○○○、○○○○、○○○○)

「才能と努力」

3年○○○○さん

「社会を明るくする運動」八女地区青少年弁論大会

7月13日(土)八女文化会館

端的で素敵な演題です。3年生の○○○○さんが堂々と弁論してきました。この日のために何度も原稿を書き直し、読む練習を重ね、当日は恐ろしいほどの緊張と闘い、立派に弁論を終えることができました。

ある友だちはいつも部活で素晴らしい成績を残している。それはその人に「才能があるから」、と思っていたけれど、実は見えないところで努力を重ねていた結果だった・・・、ということ述べています。

身振り手振り、間の取り方、声色・強弱など、いろんな工夫をしている弁士がたくさんいて、とても勉強になりました。

みなさんにも聞いてもらいたいです。



子どもの **SOS** に気づける大人に



本校のスクールカウンセラー〇〇〇〇先生から、「SOS の出し方」と題して子どもたちにお話しをしていただきました。子どもが、危機的状況（心もからだも）になったとき、自分で気持ちを軽くする方法や、信頼できる友達や大人に SOS を出すことができるようにするためのお話しでした。だれにも相談できず苦しいときには、電話や SNS での相談機関があることも教えていただきました。

生まれたばかりの赤ちゃんは、どんな時も泣いて周りの人に助けを求めています。お腹がすいたよ、おむつが濡れたよ、と。しかし、自我が芽生え大人に近づくにつれて、人間はだんだんそれができなくなっていきます。思春期まっただ中の中学生ならなおのことです。それでも、自分でなんとかできるならよいですが、そうはいかない子どももたくさんいます。

私たち大人は、不安や悩みがある子どもたちの SOS に気付くことが出来るでしょうか。もしかしたら、子どもの話を「今は忙しいから後にして！」とか、「そんなくだらないことで悩んでないで勉強しなさい！」とか「気のせいよ。気にしないことが一番！」なんて言ってるかもしれません。

以前、カウンセラーから聞いた話では次のようにおっしゃっていました。

もしも、子どもが何か話したそうだったら、まずは聴いてください。なかなか上手に話せないかもしれないし、自分のことばかりしゃべるかもしれません。いけないことをした事実が含まれるかもしれません。だけど、「〇〇って思っているのね。」とそのままの言葉を返してあげることが大切です。子ども達は「ああ、分かってもらえた。」「この人なら、信じてお話しできる。」と感じることでしょう。

子どもから相談してもらえたい大人になりたいと思います。



保護者の方へお願い

連日のように、交通事故や水難事故、熱中症等で尊い命が失われる報道がなされています。夏休みは、楽しい反面、危険も隣り合わせです。大切な命を守るために、保護者のみなさまにも以下のことをお子さまに指導していただくようお願いいたします。

●ヘルメットの着用を。

交通ルールを守ることは当然ですが、登下校以外でもヘルメット（努力義務）と蛍光たすきを着用するよう声かけをお願いします。また、二人乗り・並進・ながら運転など、絶対にさせないようご指導をお願いします。



●河川での遊泳は禁止です。絶対！（保護者同伴でも禁止です。）

水難事故は、水遊びをしているうちに誤って深みにはまったり、足を滑らせて転倒したまま水に流されるなど、原因はさまざまです。子どもの水難事故は、「河川」で多発しています。自然を甘くみてはいけません。プールで泳ぐ場合も、必ず保護者が見守るようにお願いいたします。

